

保健室で見つけたあったかーい話 “厳しさと優しさ”

今年度、最初の“あったかーい話”です。第1号は、今年小学校を退職された先生が、心に残る思い出として、私に語ってくれたお話です。

彼女が勤務していた学校は、校門に立つと、一直線で遠くから登校する子どもたちが見渡せました。毎日、校門で子どもたちを迎えていたのですが、今日のように激しい雨が降っていた日のことでした。

遠くから傘をさして、長い距離を歩いてくる子どもの姿が見えました。心配しながら見てみると、1年生のA子さんでした。A子さんが学校に着いたときには、全身びしょぬれです。そのときでした。トラックから一人のお母さんが降りてきました。そして、「〇〇ちゃん、よくがんばったね」と子どもに駆け寄ったのです。手には、着替えの袋を持っています。

お母さんは、家から子どもを送り出すと、その足でトラックに乗り、先回りして学校で待っていたのです。濡れると分かっているけど、自分の足で歩かせたのです。車で送っていくのは簡単です。でも、あえて歩かせ、歩かせっぱなしではなく、きちんと着替えを用意するという優しさまで準備されていたのです。

小学1年生の女の子は、お母さんの厳しさと優しさを心で感じ、私は愛されているのだと実感したと思います。

プールが始まりました。朝の健康観察をお願いします。

プール学習が はじまります		チェック & チェック	
1	前の日までの 準備はOK?		1
2			2
3	☐ つめは切ってありますか?		3
4	☐ 耳のそうじをしましたか?		4
5	☐ 目、耳、鼻、ひふの病気は 治っていますか?		5
	☐ 夜は早めに寝ましたか?		
	今日は元気に プールに入れるかな?		
	☐ 朝ごはんを食べましたか?		
	☐ 健康観察をしましたか?		
	* 痛いところはありませんか?		
	* 熱はありませんか?		
	* 調子の悪いところは ありませんか?		